

関西学院三田数学セミナー

「数学をする」とは単に「計算をする」とか「問題を解く」ことでしょうか。確かに数学の問題を解くためには計算しなければなりませんが、「計算する」という言葉がもつ無味乾燥なイメージは数学に対する誤解を生む結果になっているように思います。古代ギリシャのピタゴラスやアルキメデス以来、偉大な数学者たちは何もない所から新しい概念や手法を生み出して数学を発展させてきました。長い歴史の上に築かれた現代数学は、私たちにとってかけがえのない文化のひとつでもあるのです。このセミナーでは、

- (1) 日常経験する現象や生活を支える技術と数学とのかかわりを例示する
 - (2) 選抜の道具としか見られていない入試問題をより高度な数学の立場から見る
 - (3) 歴史上の偉大な数学者の一人に焦点をあて、その人の考えた事や生き様を追跡する
- といった試みを通じて、高校生や一般の方々に数学への距離感を少しでも縮めていただく事を目的としています。どうか気軽に参加していただけたらと思います。

日時：平成17年8月6日（土曜日）午後3時より約1時間

場所：関西学院大学理工学部201教室（関西学院大学神戸三田キャンパス）

講演者：千代延 大造（関西学院大学理工学部助教授）

タイトル：「グリコのおまけ」集めと数学としての確率論

講演者より一言：皆さん「グリコのおまけ」とか「野球カード」の事をご存知ですよね。スナックやキャラメルを買うと「おまけ」としてカードやミニチュアがついてくるので、それが楽しみでスナックを買う。すこしずつたまつてくると、まだ持っていないカードがほしくなってまた買う。でも全部のおまけを集めるためにはキャラメルをいくつ買わなければいけないのか、これは誰にもわかりません。偶然によって決まるからです。偶然に支配される現象を解析する学問が数学としての確率論です。確率論を用いておまけ集めについて考えてみましょう。

ご注意：当日神戸三田キャンパスでは関西学院大学のオープンキャンパスが開かれております。このセミナーはオープンキャンパスとは独立した企画ですが、それに参加した人もひき続いで聴講できるように開始時刻を定めております。なお、事前の申し込みは不要です。

世話人：関西学院大学理工学部 北原和明
問い合わせ先：関西学院大学理工学部事務室

Tel. 079-565-8300